

# 学生のための生成 AI 利活用ガイドライン

令和健康科学大学

学長 寺坂 禮治

## 学生の皆さんへ

生成 AI は、PBL(問題解決型学習)、グループ学習、レポート作成など、学生の学びを深化させ、批判的思考力や学究精神を育むために活用できます。

## 利用上の注意点

### 1. 授業や研究などでの利用

授業や卒業研究・大学院研究などでの生成 AI 利用の可否や利用方法については、担当教員の指示に従ってください。

### 2. リスクの理解

生成 AI には、著作権侵害や機密情報・個人情報の漏洩などのリスクがあります。

### 3. 学修成果物への利用

- 生成 AI の出力そのままを成績評価対象の学修成果物に使用しないでください。
- 生成 AI 出力を利用した場合は、利用内容、種類、入力プロンプトなどを明記してください。
- 生成 AI の利用を明記せずに、生成 AI の出力をそのまま成績評価対象の学修成果物に使用した場合は、その課題の点数は0点になります。

### 4. 技術的限界

- 生成 AI 出力には、学習データに基づくバイアスや制約が含まれています。
- 生成 AI は「もっともらしい」文章を生成するため、虚偽や誤りが含まれる可能性があります。
- 以下の点に注意して、生成 AI を活用してください。

- 出力情報の真偽を複数の情報源で必ず検証する。
- 「真実のような嘘」(Hallucination)の可能性を認識し、批判的思考を大切に
- 引用元や出典を確認し、多面的な判断を心がける。
- 最新情報や専門情報が反映されていない可能性があることに注意する。

## 本学の取り組み

本学は、学生向けに生成 AI の利活用に関するガイドラインを策定し、適切な利用を通して論理的思考能力、表現力、研究倫理などを身につけられるように支援します。

## 学生の皆さんへ

生成 AI は、使い方を間違えると問題が生じる可能性があります。このガイドラインを参考に、生成 AI を適切に活用し、主体的に学びを進めてください。・上記はあくまでもガイドラインであり、個々の状況に応じて判断する必要があります。また大学職員用の生成 AI 利用ガイドラインも参考にしてください。